

同年十一月三十日嘉徳郡幸袋工作所組工組長小柳林八
八同職工約二百五十名ヲ以テ幸袋支部ヲ組織シ

小竹支部

同年十二月一日數千張勝那村大字小竹炭坑用道中東製
造業福間伍郎ハ前頭幸袋製作所職工白土稔ト蒙應
シテ鎌山工場、縫働者及行商人ヲ加ヘタル小竹支部ヲ組織シ
新多支部

更ニ同村大字新多ニ於テ幸袋製作所職工吉良俊吾ハ
同志約六名ヲ以テ最主微力ナル新多支部ヲ組織シタリ

大牟田支部

翌九年一月十七日大牟田市三井鎌山株式會社三池鎌業
所官、浦炭坑日底緣道修築事小松道太郎ハ三井經營炭

九州聯合會

組織ト大同盟加盟

杭日雇縁其、他ヲ語テ會員約五十二名ヲ以テ大牟田
支部ヲ設立シタリ

然ルニ如上、組合組織運動又只一時、好事的策動ニ過キスシテ
全然思想的背景ヲ有セサル烏ノ組織後数ヶ月ヲ費テスシテ
會員分散シ組合ニ亦自然ニ壞滅シ基礎比較的鞏固ナリ
シハ塔及戸畠西支部又炭鐵所罷業事件後解散シタルヲ
以テ大正九年末ニ於ケル總同盟系組合ハ光吉悦心、統制
スル後藤寺支部ノミトナレリ

總同盟ニ在リテハ如斯所屬組合ノ興廢ヲ目前ニ見テ更ニ
勞働都市タル八幡市ニ於テ局面ノ展開ヲ為サントスル計畫